

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																						
専門学校 未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日	千村 重平		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																						
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日	理事長 青山 織人		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																					
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・観光・ブライダル学科			平成21年文部科学省 告示第22号	-																					
学科の目的	ホテル・観光・ブライダル学科では、WBW認定ウエディングスペシャリスト、ホテル実務技能検定の資格取得を目指すとともに、ホテル、観光、ブライダル業界で即戦力として活躍できる人材、また高いコミュニケーション能力とホスピタリティ、マナーを身に付けた人材育成を目的とする。																										
認定年月日	平成27年2月17日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	62	35	18	37	-	-																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
60人		34人	0人	3人	5人	8人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月24日 ■後期:9月25日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価																						
長期休み	■学年始:4月1日～4月9日 ■夏季:7月26日～8月20日 ■冬季:12月20日～1月9日 ■学年末:2月24日～3月31日			卒業・進級条件	■進級条件: なし(単位制) ■卒業条件: 62単位以上取得																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携)			課外活動	■課外活動の種類 ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、学科研修旅行 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 専門式場、ホテル、旅館、映像、レストラン業界等 ■就職指導内容 就職適性診断、職業レディネステスト、個別面談等をふまえたキャリアプランニング指導、就職試験(一般常識、面接)指導、模擬面接、就職フリーの実施、企業情報提供、企業人・ ■卒業生数 : 17 人 ■就職希望者数 : 17 人 ■就職者数 : 17 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																						
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定ウエディングスペシャリスト</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>認定ウエディングプランナー</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ホテル実務技能検定上級</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	認定ウエディングスペシャリスト	③	17人	17人	認定ウエディングプランナー	③	17人	16人	認定ドレスコーディネーター	③	17人	12人	ホテル実務技能検定上級	③	17人	15人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
認定ウエディングスペシャリスト	③	17人	17人																								
認定ウエディングプランナー	③	17人	16人																								
認定ドレスコーディネーター	③	17人	12人																								
ホテル実務技能検定上級	③	17人	15人																								
(平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)				<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。</p> <p>①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 公益財団法人実務技能検定協会 優秀賞</p>																							

<p>中途退学 の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 2.6 % 平成29年4月1日時点において、在学者39名（平成29年4月1日入学者を含む） 平成30年3月31日時点において、在学者38名（平成30年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 学習意欲低下</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 ■中退防止のための取組 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用</p>
<p>経済的支援 制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 特待生・奨学生入学(学業優秀あるいは、経済的事情を勘案した授業料の一部免除制度) 資格・検定支援金制度 家族入学優遇制度 2年次授業料免除制度(1年次の成績・出席状況優秀者) 学費分納制度 ■専門実践教育訓練給付： 非給付対象</p>
<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p>URL : http://www.mirai.ac.jp/mit</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ホテル、観光、ブライダル分野における専門人材育成に必要な基礎から応用・実践までの一貫した教育を施すため、業界企業等の外部人材を活用し、より実践的な教育課程編成及び授業内容を編成する。そのため、学校と業界企業等が参画する教育課程編成委員会を設置する。委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善・工夫」を主とし、教務部の指導・助言機関として位置づける。委員会での協議事項について、教務部で検討した結果を以後の教育課程編成及び授業内容に反映することを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科は、委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを受けて、委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善」などを提言・助言する。委員会からの提言や助言を受けて、教務部は検討を行い、必要に応じて当該学科の「次学期・次年度の教育課程、授業内容の見直し」などを行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
小林 磨史	社団法人全日本シティホテル連盟 甲信越支部 常務理事	平成28年10月1日～平成30年 9月30日(2年)	①
串田 吉保	株式会社アステップ信州 ザ・ブライツガーデン支配人	平成28年10月1日～平成30年 9月30日(2年)	③
西村 明美	株式会社たちばな	平成28年10月1日～平成30年 9月30日(2年)	③
丸山 康夫	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカ レッジ 企画情報推進室室長	平成28年10月1日～平成30年 9月30日(2年)	
大槻 俊子	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカ レッジ 学科長	平成28年10月1日～平成30年 9月30日(2年)	
百瀬 久美子	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカ レッジ 学科職員	平成28年10月1日～平成30年 9月30日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月)

(開催日時(実績))

第8回 平成29年9月25日16:00～17:00

第9回 平成30年3月7日16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

外国語、特に英語習得のため、ネイティブ講師と日本人講師による授業で基礎から学習し、2年間を通して外国語を学べるカリキュラムを実施。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために、学校と企業・業界団体等が講師契約を締結し、その連携のもと、ブライダル・ホテル業界の人材育成ニーズに沿った教育課程に基づき、外部講師による実践教育の機会を提供し、ブライダル・ホテル関連のスタッフとしての職業観・勤労観を育むとともに、知識と技術の向上を図ることを企業等の連携に関する基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業2社の講師による下記の授業内容を実施。実習態度と実習技能レベルにより5段階評価。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダル実務1	連携先結婚式場(レセプションハウス ザ・ブライトガーデン)にて、ウェディングプランナー、ドレススタイリスト、サービススタッフおよび関連職務についての実務を実習を通して学習し、実践力と応用力を身につけることを目的とする。ウェディングプランナー、ドレススタイリスト、サービス等について各部門の現場にて実習する。仕上げとして、実際の結婚式・披露宴を学生自身がプロデュースし、企画・運営全てに携わる。実習は、契約講師が実技指導を行い、学科教員は授業が円滑に運営できるよう支援する。 学修評価については、契約講師が【実習態度・実習技能レベル】を5段階評価する。	株式会社アステップ信州 レセプションハウス ザ・ブライトガーデン
和装コーディネート1	きものの名称や保管法、文化を理解し、訪問着、振袖、ゆかたの着付けができることを目的とする。きものの現状と着付け時のマナー、美しく着崩れしないボディづくり等きものに関する知識の習得と、長襦袢、訪問着、振袖、ゆかたの着付けを2人1組で実習する。実習は、契約講師が実技指導を行い、学科教員は授業が円滑に運営できるよう支援する。 学修評価については、契約講師が【筆記試験及び実技試験】実施し、5段階評価する。	株式会社 たちばな

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職業の遂行に必要な知識又は技能を習得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。本学科に関してはホテル、観光、ブライダル関連職に必要とされる、実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される。関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の修得・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

① 研修名「LGBTカップルとブライダル業界のかかわり方」(連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:4月25日(火) 対象:ブライダル企業、学校

内容:婚礼顧客としてLGBTの方々の迎え方、企業による実例の発表

② 研修名「第14回 ブライダル講師のための勉強会」(連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:12月13日(水) 対象:専門学校ブライダル講師

内容:コンセプトウエディングの実例、WEBを活用した集客企画

③ 研修名「第15回ブライダル講師の為の勉強会」(連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:3月19日(月) 対象:専門学校ブライダル講師

内容:アメリカンウエディングの最新トレンド、最新のウエディング市場とアプローチ方法

② 指導力の修得・向上のための研修等

① 研修名「挨拶・マナー講座」(連携企業等:好生会)

期間:4月7日(金) 対象:学校教職員

内容:挨拶の重要性と分離礼について

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

① 研修名「第16回ブライダル講師のための勉強会」(連携企業等:ウエディングスビューティフル協会)

期間:8月28日(火) 対象:専門学校ブライダル講師

内容:挙式アテンド方法

② 研修名「ブライダルジュエリーセミナー ブライダルのプロが知っておくべきブライダルジュエリーの知識」(連携企業等:信州ブライダル協議会)

期間:10月15日(月) 対象:ブライダル関連企業

内容:ブライダルジュエリー基礎講座

② 指導力の修得・向上のための研修等

① 研修名「SNSの危険性とその留意点」(連携企業等:セーフティーネット総合研究所)

期間:4月6日(金) 対象:学校教職員

内容:SNSの取り扱いについて

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をもとに、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論および意見をもとに作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	特に記載なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会での各ご意見への対応・活用状況。

- ・バブリシティ活動が定着しつつあり、各学科に情報発信の機運が根付き常日頃チャンスを意識している。
- ・学科間のコラボレーションについては、日頃より念頭におくように職員に徹底する。
- ・シラバスの公開は次年度具体案とする。
- ・職員のスキルアップのため研修を奨励している。希望すれば行きたい研修に参加できる環境は整っている。
- ・学生のアルバイトは一定の制限を設けつつ、社会訓練としてのメリットを重視し、活用する方向性である。
- ・学生のマナー向上は引き続き課題として取り組む。
- ・防災マニュアルは、質保証の一環としてのエビデンスとしてとらえて今後取り組む予定である。
- ・企業情報の収集は、就職部の専任担当が精力的に行っている。
- ・各学科とも広報に積極的に関与し、高校生への説明機会増加を図る。
- ・学校公開においては、見せるだけでなく、来校者が日頃の学習を体験できる参加イベントを工夫しており、今後も発展させる方向である。
- ・学校HPでは、各学科紹介動画の掲載を検討している。
- ・卒業生との連携や情報交換については引き続き検討課題とする。
- ・学納金については学生負担と教育効果のバランスを適正に保つよう常に配慮するものとする。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
伊藤 亮二	松本商工会議所 事務局長	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	企業等委員
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	学識経験者
澤田 友行	ナチュラル・サワダ 代表	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	企業等委員
荒崎 元徳	株式会社たちばな Web事業部 レンタル衣裳・COMチーム	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスチュール 経営者	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	企業等委員
小野 キミ子	Wonder House 経営者	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいんと 経営者	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 放射線部 技師長	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	企業等委員
田中 優子	卒業生同窓会 会長	平成28年10月1日～平成30年09月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

学校ホームページ

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

公表時期: 30年5月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。ただし、国際連携については、今後実施後に公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(学科ブログ))

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit> 【情報公開】ページ

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ホテル学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		情報リテラシー	パソコンOSの基本操作、インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されているOffice系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする。	1・2通	150	5			○	○		○		
	○		キャリアプランニング	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する。	1・2通	90	3	○			○		○		
	○		実務教養	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1・2通	120	4	○			○		○		
	○		総合演習	主として、リメディアル教育を実施する。【読み・書き・計算】、【生活指導・道徳指導】など、中学校卒業程度までの知識の復習を行い、専門科目の修得に支障が出ないようにする。	1・2通	60	2		○		○		○		
○			ブライダル実務1	専門結婚式の会場にて、現役ウエディングプランナー、ドレススタイリスト、サービススタッフより、プロとしての振る舞いやお客様のニーズに合わせた接客の仕方を学ぶ。	1・後	30	1			○		○	○	○	○
○			和装コーディネート1	着物の種類、名称、部位、たたみ方を学習し、3種類の帯結び（文庫、立て矢、太鼓）と他装の技術を習得する。また、和装の所作など、着物を着たときのマナーも学習する。	1・前	30	1			○	○		○	○	○
	○		ブライダル実務2	プロとしての振る舞いやお客様のニーズに合わせた接客方法を学ぶ。	1・2通	30	1			○		○	○	○	
	○		和装コーディネート2	着物の種類、名称、部位、たたみ方を学習し、3種類の帯結び（文庫、立て矢、太鼓）と他装の技術を習得する。	1・2通	30	1			○	○		○	○	
	○		Weddings Beautiful	現在の日本の結婚式のルーツともいえる、欧米型ウエディングの基礎とスタイルを習得し、WBW「認定ウエディングスペシャリスト」の資格取得を目標とする。	1・2通	180	6	○			○		○		

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ホテル学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		ブライダルプランニング	実際の挙式・披露宴の企画から打ち合わせ、婚礼施行・進行管理までを学生自身が行い、結婚式全体をプロデュースする。企画力、提案力、接客マナーを実践的に学習する。	1・2通	180	6			○	○		○		
	○		ブライダルプランナー演習	BIAアシスタントブライダルコーディネーター検定対策。	1・2通	60	2		○		○		○		
	○		ブライダル総論	ブライダルの基礎から専門知識、挙式・披露宴の流れなど、オリジナルウェディングに必要なプランニング技法を学習する。WBJ認定ウェディングプランナー検定の資格取得を目標とする。	1・2通	120	4	○			○		○		
	○		宿泊サービス	ホテルの宿泊部門の基礎を学び、フロント業務、ベル業務の実技を中心に、お客様対応と電話対応を学ぶ。	1・2通	60	2	△	○		○		○		
	○		料飲サービス	ホテルのレストラン部門、宴会部門の基礎を学び、備品の名称や配膳の実技を習得する。	1・2通	60	2	△	○		○		○		
	○		ホテル総合演習	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	1・2通	120	4		○	△	○		○		
	○		ホテルマーケティング	マーケティング理論の習得 ポーターの経営戦略理論の習得 ホテル・ブライダル業における経営戦略立案	1・2通	30	1		○		○		○		
	○		ホスピタリティ概論	お客様の立場に立って行動するホスピタリティについて学習する。ホスピタリティ検定の検定取得を目標とする。	1・2通	60	2		○		○		○		
	○		レストランサービス実習	正しい接客法（客席案内、オーダー取り、セッティング、突発事態対処法、後片付け）の習得。	1・2通	60	2			○	○		○		

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ホテル学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		料飲概論	食品に関する一般的な知識、西洋料理に使用される食材、調理法、飲料知識の習得。	1	60	2	○			○		○		
	○		外国語	外国語（英語・中国語）の習得。	1	90	3		○		○		○	○	
	○		ドレスコーディネーター	ドレスコーディネーターに必要な、衣裳全般の基礎知識、コーディネート技法、接客方法を習得する。WBJ認定ドレスコーディネーター検定の取得を目標とする。	1・2通	120	4	○			○		○		
	○		パーティープランニング	日本の4つの挙式スタイルの基礎を学習し、模擬人前式、模擬チャペル式の企画から施行をし、挙式の流れを理解する。オリジナル挙式の企画力と提案力を身に付ける。	1・2通	90	3			○	○		○		
	○		フラワーアレンジメント	花の種類学習と、生花とアートフラワーのアレンジメント技術を身に付ける。	1・2通	30	1			○	○			○	
	○		美容実習	ネイルのケア方法とネイルアートの基礎と、サービス業に携わるための身だしなみとしてのセルフメイクやブライダルメイクの技術を身に付ける。	1・2通	60	2			○	○		○	○	
	○		カラーコーディネート	テーブルコーディネートやファッションなどに活かせる、色彩論、色相、トーンなどの色彩基礎知識を学ぶ。色彩検定等の取得を目標とする。	1・2通	60	2	○			○		○		
	○		サービス概論	サービス接客検定対策。	1・2通	30	1	○			○		○		
	○		秘書実務	秘書検定対策。	1	60	2	○			○		○		
	○		手話コミュニケーション	手話の基本を学び、聴覚障害者への理解を深めコミュニケーション力を身に付ける。	1・2通	30	1	○	△		○		○		

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ホテル学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			衛生学	食品に関する一般的な知識、公衆衛生に関する一般的な知識の習得。	1	30	1	○			○	○			
○			サービス論	宴会の種類及び運営とレストランサービスに関する一般的な知識の習得。	1・2 通	60	2	○			○	○			
○			メディアデザイン	プロフィールビデオやエンドロール等の映像制作、インターネット等各種メディアでのデジタルコンテンツ制作・活用等について学習する。	1・2 通	90	3		△	○	○		○		
○			学外実習	テーマパークオフィシャルホテルなどでのサービス研修を通して、職務への理解を深め、ホスピタリティを身に付ける。	1・2 通	60	2			○	○		○		
○			卒業研究・制作	2年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2 後	210	7		△	○	○		○		
○			総合実習	授業で身につけた知識や技術を、企業等（ホテルや専門式場等）の現場で実践し、専門スタッフとしての総合力を身につける。	2 後	210	7			○	○		○		
合計			28科目		1860単位時間(62単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：62単位以上の単位取得 履修方法：【必修科目】2単位、【選択必修科目】60単位 単位制履修に関する留意事項 ①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。